



令和6年8月20日
課名 農林水産局販売・連携推進課
担当者 課長 諫山
内線 3581

課名 商工労働局観光課
担当者 観光魅力創造担当監 平野
内線 2420

「おいしい! 広島」プロジェクトの令和6年度の取組について

1 要旨・目的

G7広島サミットの開催を契機に、県の多彩な食資産を多様な主体と磨き上げるとともに、その魅力を発信するために開始した「おいしい! 広島」プロジェクトについて、令和6年度の取組の方向性を報告する。

2 現状・背景

サミットで高まったプレゼンスを追い風に、広島の「おいしい」イメージを定着させ、「ひろしまは美味しさの宝庫である」という、ひろしまブランドの強化につなげるためには、その価値・魅力をさらに高め、県内外から広く共感を獲得する必要がある。

そのため、瀬戸内さかなや広島和牛、日本酒など、県産農林水産物等を使った新たな食の魅力や価値を創り、伝える取組を、多様な主体と共に推進する。

これらの取組を通じて、食の魅力や価値を高め、観光消費額の上昇や、内需の拡大などにも波及させることで、県内の生産者、観光事業者、飲食店、小売など、県内事業者の収益力向上にもつなげる。

3 取組内容

(1) 概要

食の魅力や価値を継続して高めていくため、生産者や観光事業者、飲食店などを始めとした多様な主体との共創による取組を基本とし、次の方向性で取組を進める。また、施策の相乗効果を高めるため、関係部局が一体となって取組を推進する。

ア 強固なブランドイメージを創るための新たな強みの創出に向けた取組

お好み焼きや牡蠣、レモンなどに続く新たな強みとして、瀬戸内さかなと日本酒のペアリングなど、広島の優れた食材と酒による新たな魅力を創り、県民や観光客に伝えるためのPRやプロモーション等の実施

イ 食の多様性の創出に向けた取組

広島和牛など、地域の多彩な食資産や食文化に焦点を当て、その背景にある歴史や物語と共に伝えるためのPRやプロモーション等の実施

ウ 食を支える人たちを応援する取組

広島県の食の魅力や価値について、それらを支える生産者や料理人たちが再認識するための研鑽会や若手料理人の発掘・育成、PR等の実施

エ 食を学び楽しむ人たちを応援する取組

小学生や中学生、高校生など、将来の広島を担う若者が、広島の多様な食資産・食文化を学び、楽しむための企画やPR等の実施

(2) 予算

- おいしい！広島推進事業 100 百万円
- その他関連事業
 - ・瀬戸内さかなブランド化推進事業
 - ・広島和牛ブランド構築事業
 - ・ひろしまの食の魅力向上事業 等

(3) 今後の取組

多様な主体との共創に向け、生産者や観光事業者、飲食店など、県内の食に関わる事業者・団体等に広く働きかけ、広島の「おいしい」を共に創る仲間づくりを行いながら、様々な企画やPR、プロモーションについて、準備が整ったものから順次打ち出し、秋以降に、集中的に取組を展開していく。

| 時 期 | 4～6月 | 7～9月 | 10～12月 | 1～3月 |
|-----|-------------|------|--------|--------|
| 取 組 | 事業・企画等の検討等 | | | |
| | 共創に向けた仲間づくり | | | |
| | | | 秋の集中期間 | |
| | | | | 冬の集中期間 |

4 その他

今後、「おいしい！広島」プロジェクトに関連する情報については、県ホームページのほか、公式ホームページ (<https://oishii.hiroshimakensan.org/>) にて、随時情報を掲載する。